

第2次はこだてげんきな子 食育プラン（函館市食育推進計画）指標の現状値

資料 1

指標		計画策定時 現状値	現状値					目標値	担当課	根拠資料等	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
就寝時間の遅い子どもの割合が減る (3歳児 22時以降) (小学生 22時以降) (中学生 23時以降)	3歳児	22.8% (H26値)	24.7%	20.3%	22.1%	21.7%	24.6%	21.4%	子ども未来部 母子保健課	3歳児健康診査	
	小学4年生	29.1% (H24値)	27.8%		29.1%	29.4%	29.4%	24.9%	教育委員会 教育指導課	学習意識調査	
	中学1年生	41.8% (H24値)	48.3%		38.5%	35.6%	41.6%	35.8%			
朝食を毎日食べる子どもの割合が増える	3歳児	91.7% (H26値)	92.5%	93.2%	91.9%	93.0%	93.4%	100%	子ども未来部 母子保健課	3歳児健康診査	
	小学4年生	82.0% (H26値)	81.1%	84.2%	80.5%	80.8%	82.4%	100%	教育委員会 教育指導課	学習意識調査	
	中学1年生	79.2% (H26値)	77.6%	78.5%	77.3%	78.1%	77.2%	100%			
家族で「毎日一緒」、「週5～6日一緒」に 食事をする保護者を増やす	小学生保護者	92.1% (H25値)			93.6%			現状値以上	子ども未来部 子ども企画課	子ども・子育て支援に関する ニーズ調査 (5年ごとの調査)	
	中学生保護者	89.8% (H25値)			90.2%						
肥満の子ども（幼児）の割合が減る（注）	1歳6か月児	旧評価	0.5% (H26値)	0.7%	1.0%			現状値以下	子ども未来部 母子保健課	1歳6か月児 および3歳児 健康診査結果	
		新評価	1.2% (H26値)	1.0%	1.1%	1.3%	1.8%				2.2%
	3歳児	旧評価	1.8% (H26値)	1.9%	2.1%	1.9%					
		新評価	2.7% (H26値)	2.2%	3.1%	2.6%	1.9%				3.2%
適正体重と判定される子ども（小・中学生） の割合が増える	小学生	85.4% (H26値)	86.0%	86.6%	86.1%	85.1%	84.6%	90%	保健福祉部 健康増進課	特定給食施設等 実施状況調査	
	中学生	83.6% (H26値)	83.6%	80.1%	82.8%	83.1%	81.3%				
子どものむし歯のある割合が減る	1歳6か月児	3.8% (H26値)	3.5%	2.5%	2.5%	2.0%	1.8%	現状値以下	子ども未来部 母子保健課	1歳6か月児 および3歳児 健康診査結果	
	3歳児	21.5% (H26値)	20.3%	17.9%	17.7%	17.7%	19.7%				
12歳児の一人平均むし歯本数が減る		2.01本 (H26値)		2.00本				1.80本	教育委員会 保健給食課	学校保健統計調査 (3年ごとの調査)	
学校給食における野菜、魚介類、海藻類の 地場産（函館産）食材の使用割合が増える	野菜	39.3% (H26値)	33.1%	33.4%	36.6%	39.0%	38.7%	現状値以上	教育委員会 保健給食課	食材産地別 調達実績	
	魚介類	28.5% (H26値)	19.7%	20.0%	13.3%	19.6%	22.0%				
	海藻類	59.9% (H26値)	61.8%	65.2%	62.0%	62.2%	40.9%				
ヘルスマイト（食生活改善推進員）を増やす		99人 (H26値)	80人	89人	95人	92人	96人	現状値以上	保健福祉部 健康増進課	食生活改善協議会 実績	

注) 子どもの肥満とは、性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者をいう。肥満度＝(実測体重－身長別標準体重)／身長別標準体重×100(%)

なお、肥満度の評価方法は、10年毎に実施される乳幼児身体発育調査の結果に基づき作成されており、計画策定時の評価は平成12年の乳幼児身体発育調査結果に基づく評価（旧評価）である

が、平成28年度以降の評価は、平成22年度の乳幼児身体発育調査結果に基づく評価（新評価）であるため、併記した。令和元年度以降は、新評価のみを用いた現状値の表記とする。